

漁船リース事業 助成金の「交付申請」及び
「概算払請求」、「精算払請求」、「実績報告」に係る【記入例】

水・漁機構（漁船リース班）

☆ 【記入例】の設定（概要）

* 借受者（2名）

① 16H ***1/ 漁船太郎/ 中古船/ 助成金の額 8,725,929 円（税抜額）

② 16H ***2/ 有限会社 ○富水産/ 新船/ 助成金の額 41,455,500 円（税抜額）

* 助成金の「請求方法」と「実績報告」

① 16H ***1/ 漁船太郎 : 概算払請求（75%）、概算払請求（25%）、実績報告

② 16H ***2/ 有限会社 ○富水産 : 概算払請求（51%）、精算払請求（兼 実績報告）（49%）

☆ 【記入例】の設定（詳細）と助成金の「交付申請」から「実績報告」までの流れ

1. 助成金の「交付申請（様式第6-1号）」：【記入例：助成金の交付申請】

○○リース事業者（○○県漁業協同組合連合会）は、水漁機構に対し、交付申請を行った。

→ ○○リース事業者は、水漁機構より助成金の交付決定通知（様式第6-2号）を受け、中古船の取得・改修、及び新船の建造に着手した。

2. 助成金の「概算払請求（様式第6-3号）」：【記入例：助成金の概算払請求（その1）】

① ○○リース事業者は、① 16H ***1/ 漁船太郎の中古船を取得、その改修作業が進み、中古船の販売先と造船所より、出来高分の費用請求を受けた。

② ○○リース事業者は、費用請求を受けたことに伴い、水漁機構に対し、助成金の概算払い請求を行った。

※ 助成金の概算払い請求の額：6,545,000 円（交付決定の残額：2,180,929 円）

注）添付する「請求書」は、助成金の額、自己負担の額、消費税の額を合算した額

“（6,545,000 円 + 6,545,000 円）× 1.08” であること。

なお、「領収書」についても、同様であること。

→ ○○リース事業者は、水漁機構より、概算払いを受けた。（受領日：H28.12.5）

3. 助成金の「概算払請求（様式第6-3号）」：【記入例：助成金の概算払請求（その2）】

① ○○リース事業者は、① 16H ***1/ 漁船太郎の中古船の改修が終了し、船の引渡し日が決定したことに伴い、造船所より費用の残額分の請求を受けた。

② また、② 16H ***2/ 有限会社 ○富水産の新船建造が進み、造船所より、出来高分の費用請求を受けた。

③ ○○リース事業者は、費用請求を受けたことに伴い、水漁機構に対し、助成金の概算払い請求を行った。

※ 助成金の概算払い請求の額：23,180,929 円

<内訳> ① 16H ***1/ 漁船太郎： 2,180,929 円（交付決定の残額： 0 円）

② 16H ***2/ 有限会社 ○富水産：21,000,000 円（交付決定の残額：20,455,500 円）

→ ○○リース事業者は、水漁機構より、概算払いを受けた。（受領日：H29.1.31）

4. 助成金の「実績報告（様式第6-4号）」：【記入例：助成金の実績報告】

① ○○リース事業者は、㉑ 16H ***1/ 漁船太郎の中古船の引渡しが完了したため、助成金については概算払い請求により全額受領していることから、水漁機構に対し、実績報告書を提出した。

→ ○○リース事業者は、水漁機構より、額の確定通知（様式第6-5号）を受けた。

5. 助成金の「精算払請求（兼 実績報告）（様式第6-4号）」：

【記入例：助成金の精算払請求（兼 実績報告）】

① ○○リース事業者は、㉒ 16H ***2/ 有限会社 ○富水産の新船の引渡しが完了したため、水漁機構に対し、実績報告を行うとともに、助成金の精算払い請求を行った。

※ 助成金の精算払い請求の額： 20,455,500円（交付決定の残額：0円）

→ ○○リース事業者は、水漁機構より、額の確定通知（様式第6-5号）と精算払を受けた。

☆ 作成にあたっての留意点

1. 助成金の「精算払請求（兼 実績報告）（様式第6-4号）」：【記入例：助成金の精算払請求（兼 実績報告）】

及び「実績報告（様式第6-4号）」：【記入例：助成金の実績報告】は、1隻ごとに行ってください。

なお、複数による場合は、この様式内の2 精算払請求額 又は 2 概算払の既受領 欄は、計画番号ごとに記載し、計画番号ごとの小計及び合計欄を追加・記載すること。

2. 各申請書等の【記入例】に赤字記載している㉑については、申請時、申請書から削除のこと。

以上